

農林水産省登録認定機関・特定非営利活動法人(NPO) 熊本県有機農業研究会 発行
〒861-8028 熊本市新南部2丁目5番13号 Tel 096-223-6771 / Fax 096-223-6772

振替: 01980-7-18438

URL: <http://www.kumayuken.org/>

Mail: info@kumayuken.org

2面・3面

- ・キッズ料理コンテスト
報告&入賞紹介
- ・有機フェスタ参加団体一覧

4面

- ・第七回総会・大会のご案内
- ・10~11月活動報告
- ・今後の予定
- ・有機JAS認証Q&A



身土不二

有機農業推進法の制定をうけて

間司(熊有研副理事長)

昨年一二月、有機農業運動の歴史三〇年を経て、初めて有機農業推進法が制定されました。いよいよ有機農業を国が率先して推奨する時代になったということです。法律一本でどこまで変わるかと思いつつも、条文を読むほどに不思議な感慨をおぼえます。

今回の推進法は理念法として法律の目的や基本姿勢を述べると共に、国や地方自治体の取り組みを義務としてうたっています。今後農水の環境保全型農業対策室が実際の推進のための「基本方針」案を作り、有識者を集めた食料、農業、農村政策審議会で検討されます。数回の審議を経て、三月中にもその全体像が明らかになる予定です。先口、審議会スタートを前に環境保全型農業対策室長が鹿児島を訪れ、有機農業の現場との意見交流会がもたれました。熊有研からも五名参加し、意見と要望を伝えました。

「基本方針」が策定されますと、それに基づいて、都道府県レベルでの「推進計画」作りが始まります。ここに、私達の意見をどれだけ反映出来るかが、今後の最重要課題になってきます。それらが出揃い、国会での来年度の予算が確定して、本格的に予算措置を伴った行動が始まることになるのです。

熊本の有機農業についていえば、私達が「提携と認証を両輪として」展開してきた運動の歴史を糧に、熊本県の有機農業の課題と未来像を写真真として示し、各方面にぶつけていくことによってしか、本当に有効な政策は作れないと考えます。

その意味で今年は大切な年であり、ツルネン議員を講師として潮谷知事を来賓として招いて開催される二月二五日の講演会はその第一歩です。

Kid's 料理コンテスト

山鹿(産山)が優勝!



「有機野菜や有機米などの食材を通じて、自然の恵みがもたらす本来の味や季節感を伝え、未来を担う子供達に本当の有機を感じてもらいたい。」と開催されたキッズ料理コンテスト。優勝した子供達の学ぶ産山の山鹿小に、応募した動機、学校で行われている食育など取材してきました。

■おめでとー!

キッズ料理コンテスト一位入賞の山鹿小学校(産山)はこんな学校です。

■食育・食農に熱心な産山

コンテストに応募した動機は「産山をアピールしたい。」ときっぱり。その言葉を裏づけるように、山鹿小では地域と一体となった食育・食農活動が展開されています。話を聞けば聞くほど、村の人の思いとこれまでの実践が山鹿小を優勝に導いたのだと納得しました。

■体験学習

・バランスよく食事をするこの重要性を知り、栄養について理解を深める。
・楽しい食事を通して、望ましい人間関係や豊かな心を育てる。
・健康であることの大切さを知り、望ましい食習慣を身につける。

■給食の食べ残しはありません

あきらめず

全校生77名、ランチルームで一緒に食べます。配膳が始まる前に子供達は手をあげて、自分の食べる量のできる量をいいますので、給食の食べ残しは全くないそうです。多くの先生方や子供達と一緒に給食は、好き嫌いもなくなるといふことです。

■地域と連携して食の推進を

授業の一環として、地域の農家に子供達がでいき体験学習をおこなっています。野菜農家では収穫した野菜を計量、袋詰めして出荷までの作業を体験。また、老人会の方の指導により「お茶摘み」もやっています。摘んだお茶は地域の工場で仕上げ、全校で飲んでいるそうです。

■村全体でとりくむ食育

二〇〇六年十一月に「自然豊かな産山を生かして、安全安心な食生活で健康作りをしよう!」と「産山村・食の文化祭」が開催されました。それをきっかけに、親子で考えた食育カルタの詠み句を募集し、その中から選考した産山村オリジナル「親子食育カルタ」が完成しました。カルタの絵も保護者が描いています。他には老人会の指導を受け、竹久

第7回 ゆうきフェスタ 参加団体一覧

ゆうきフェスタ実行委員会(実行委員長・佐藤勝六氏 副実行委員長・田中誠氏)

日本ちゃ茶サークル 0968-32-2540 山鹿市鹿北町多久	キッチンガーデン 0967-75-0881 上益城郡山都町北中島鳴滝	菊池農場 0968-23-4511 菊池郡大字原	熊本いのちと土を考える会 096-286-0460 上益城郡益城町大字宮園	熊本県愛農会・野菜部 096-284-2704 上益城郡御船町
常磐学園 096-364-5203 熊本市春竹	緑の生活ネットワーク 096-380-636 熊本市小山町	地産倶楽部 096-273-0394 鹿本郡植木町岩野	中重企業株式会社九州支社 096-366-2655 熊本市新屋敷	百草園・千草会・万葉会 096-273-1917 鹿本郡植木町今藤
シリカファーム 0968-38-6685 菊池郡泗水町永東原	熊有研 青年部 種苗部 096-367-5400 熊本市新南部	松合食品 096-371-2212 熊本市菅原町	まるは油脂化学株式会社 0942-32-9529 久留米市高野	農の心と共にはこべ会 096-388-7031 熊本市上南部
まるき木(竹)炭 096-357-4592 下益城郡富合町榎津	鹿児島農事組合法人 0994-31-0085 肝属郡串良町有里	手打ちそばとパン 096-279-4444 阿蘇郡西原村宮山	農産漁村文化協会九州支部 092-282-8550 福岡市博多区古門戸町	くもと有機の会 096-281-7355 上益城郡御船町小坂須崎
熊本友の会 096-379-0103 熊本市画図町上無田	熊本クボタ 096-353-5184 熊本市花園	堀内製油 0964-43-0221 宇城市小川町	パーマカルチャーネットワーク九州 096-365-2397 熊本市健軍	果実堂ウエルリーフ 096-279-3700 阿蘇郡西原村鳥子鳥越
九州有機の里 096-389-3680 熊本市小山市	天使のパン 096-356-3014 熊本市谷尾	日本フェアトレード委員会 096-312-8411 熊本市春日	山都町有機農業協議会 0967-72-2232 上益城郡山都町田所	

こども料理コンテスト 入賞紹介

採用枠6チームという狭き門に、なんと20チームからの応募があり、「参加希望0だったら・・・」というスタッフの心配は吹き飛びました。逆に、この熱意に応えなければ！と元気付けられたのは言うまでもありません。存分に腕を振るえるようにとステージに整えたキッチンで、こどもたちはチーム独自の料理を作りました。

＜長嶺小＞の八宝菜は彩り豊でビジュアル賞！＜古町小＞の太平燕も「野菜たっぷり」というだけあって、ヘルシーさでダントツです。タマネギの皮と魚介によるダシも効いています。

ご飯ものでも丁々発止の大接戦！＜大江小＞のオムライスにはケチャップよつ葉のトッピング、＜龍田小＞のオムチャーハンにはバレンタイン先取りのハート形。＜桜木東小＞の炊き込みご飯にはきのこがたっぷり、山形に盛り付けられています。

＜産山山鹿小＞の久住山ご飯とはまた一風違う、ミニ登山の気分が味わえます。

以上は、素晴らしい献立のごく一部の紹介です。調理過程での工夫の数々を語り尽くせないのが残念です。大人顔負けの上級スキルを披露してくれた、18名のコックさんに拍手！

●産山山鹿小・優勝

もっちりとり〜だんご豚汁
絶景！秋の久住山ごはん

高橋和花 (6)
井美智恵 (6)
大久保愛 (6)
☆サポーター
山口理恵

●龍田小・アイデア賞

春巻

オムチャーハン

山上佳織 (5)
平生紗弥子 (5)
俣野美咲 (5)
☆サポーター
四本裕美 石田晴菜

●桜木東小・バラエティー賞

ロールキャベツのクリームスープ
たっぷりきのこのたきこみご飯

蔵田小春 (6)
大野香織 (6)
松岡遥 (6)
☆サポーター
高田梓 仲尾綾

●長嶺小・ビジュアル賞

お花畑で八宝菜
五色チャーハン

沢尾更紗 (6)
杉本歩郁 (6)
趙テツ (6)
☆サポーター
藤澤加奈子 宮地美那

●古町小・チームワーク賞

野菜たっぷりタイピーエン
シャキシャキレタスチャーハン

高橋創 (5)
甲斐翔太郎 (5)
阪本英一郎 (5)
☆サポーター
上田梨愛 松本恵美

●大江小・エコロジー賞

ほかほかあったか野菜スープ
四ッ葉でスマイルオムライス

古荘日菜 (4)
永野愛理 (4)
山口千春 (4)
☆サポーター
加治幸子 高田智絵

【審査員】元岡健二 (ティア)・北亜純子 (野菜ソムリエ)・大庭照子 (日本国際童謡館)
佐藤勝六 (実行委員長)

ステージ司会・小出史

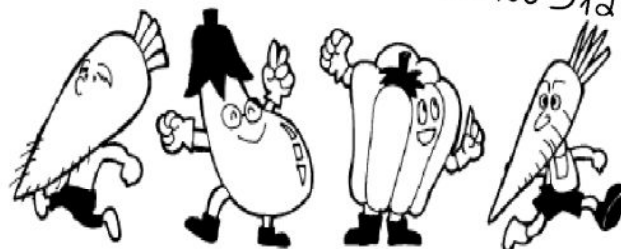
童謡を歌う大庭照子さん



▼協賛金協力団体

- ・かねくら (株) ・ (有) 内田安喜商店
- ・ (株) 共同運輸 ・ (株) 九州産直クラブ
- ・ (株) ティア ・ 熊本ピーナツ
- ・ (有) グリーンファーム熊本
- ・ くまもと有機の会 ・ 大東肥料 (株)
- ・ (株) 果実堂ウェルリフ
- ・ (有) スピード印刷
- ・ 原田アイガモ孵化場

熊本の有機大集合！
来年もまた会おうね



■地域は山村文化の宝庫

「食育は地域との連携なしにはありません。地域に職員がでていく細工で食器づくりも体験。作った箸は給食にも使われています。又地域でとれた食材を用いての料理コンテストにも挑戦しました。」

「産山村は昨年11月「構造改革特区」として小中一貫教育の認定を受け、4月より産山小として生まれ変わります。取材の最後に「子供のために、学校に余裕があることが大切なんです。」という佐藤校長先生の言葉がとても印象的でした。

「達を産山小に通わせてください。待っています。」と校長先生よりお言葉をいただきました。山村の文化を食育に生かす素晴らしい先生方、生徒のみなさん、本当にありがとうございます。(S・E)

2006年12月3日
於・熊本市興南会館

くまもとグリーン農業推進協議会

096-381-8610
熊本市水前寺

社会福祉法人神召会シオン保育園

096-356-8184
熊本市新町

社団法人日本私立学校給食協会

0967-83-0812
上益城郡山都町大野

▼景品提供団体

- ・有機の里 ・くまもと有機の会
- ・皇帝塩 ・地産倶楽部
- ・寺尾農園 ・天使のパン
- ・百草園 ・堀内製油
- ・松合食品 ・まるき木 (竹) 炭
- ・まるは油脂化学 ・愛農会
- ・山都町有機農業協議会
- ・命と土を考える会九州
- ・日本私立学校給食協会
- ・農の心と共にほこべ会

10月～1月の活動報告

- 10月21～22日 環境フェア(熊本市動植物園)
28日 藤井絢子さん講演会(熊本県立大)
31日 有機農業推進法案学習会(熊本)
11月3～5日 物産フェア(グランメッセ)
12月3日 ゆうきフェスタ(興南会館)
1月12日 臨時総会
28日 有機農業推進政策に関する
講演会及び意見交換会(鹿児島)
2月3～4日 九州・山口有機農業の祭典(大分)

今後の予定

- 2月25日 第七回総会・大会(県農業公園)
3月4日 有機JAS講習会(生産)
3月16日 有機JAS講習会(加工・小分け)

有機JAS認証 Q&A 第3弾

問1 有機と認定されるための料金は、各認定機関で差があるようですが何故ですか？またどういったことにその料金は使われるのでしょうか。

答 単に認定機関といっても組織には様々な形態があります。企業であったり、熊有研のようにNPOであったりします。そこでは、経営の理念が異なるため認定に必要な料金も当然違います。熊有研は、NPOなので認定料金はかなり安く設定されている方だと聞きます。

熊有研では、事務所で働く人への給料、認定の判定や審査にかかわる方への謝礼及び経費、その他維持費や有機農業を広めるための熊有研が行なう運動への補助に使われています。

問2 有機で作っているのに申請したいと思っても、法律用語が難しくて理解できないところがあります。もっと普通の人でも分かるようにできないでしょうか？

答 実生活のなかでも法律の用語をしっかりと理解できなくても、自然とやっていることは意外と多いものです。例えば、自動車の運転免許を取る際に難しい法律用語の説明をされてもあまり理解できませんが、実際は道路交通法に従って免許を取り、運転をしています。有機認証に関しても細かい法律を覚えことはあまり重要ではありません。何をすべきなのか、何をしなければならないのかをしっかりと把握しておけば大丈夫です。

事務所の有識者として、有機JASの認定業務を担当しています。事務所で働き始めて一年半に達しました。元々法律などについて詳しくはなかったのですが、苦勞しながらも、いろいろな人から支えられて、なんとかやっていっています。昨年、3月にJAS法が改正され、その勉強や業務の手順の見直しなどに追われて、常に後手後手に、業務をこなしているような状態でした。そこで認定事業者の方には、迷惑をかけたのではなく、今年の1月から新事務所での業務を開始しました。格段に業務がしやすくなり、今年からは、去年の反省も含めて、手先で業務にあたりたいという思いがあります。また、12月15日には「有機農業推進法案」が施行されたので、熊有研はこれから、さらに社会に対して役割が大きくなっているところだと思っています。一助となればと思います。

第七回総会・大会のご案内

期日 2007年2月25日(日)
場所 熊本県農業公園多目的ホール(合志市)

第一部 10:30～12:30

[第七回総会]

- ・2006年度事業報告
- ・2006年度決算報告
- ・2007年度事業計画
- ・2007年度予算案
- ・役員改選



ツルネン氏
(氏のHPより)

第二部 13:00～16:00

[講演会]

- ・潮谷義子熊本県知事のごあいさつ(予定)
- ・講演

「有機農業推進法と

有機農業推進の今後の課題」

講師 参議院議員 ツルネンマルティン

昨年の臨時国会で、「有機農業推進議員連盟」(超党派、会長谷津義男衆議院議員、事務局長ツルネンマルティン参議院議員)でとりまとめられた議員立法「有機農業の推進に関する法律」が、全会一致で成立しました。この法律の意義と有機農業推進の今後の課題について、お話いただき、会場からの質問も受けつけていきたいと考えています。

※ 昼食は各自用意するか、農業公園でおとりください。

事務所移転のお知らせ

平成19年1月1日に移転しました。

〒861-8028

熊本市新南部2-5-13

TEL(096)223-6771

FAX(096)223-6772

事務局便り

事務局 有馬 亮

